

事務事業評価表

施策名	1306	水産業の振興
-----	------	--------

<p>【事業類型】</p> <ol style="list-style-type: none"> 職員人件費のみの事業 国の法令に基づいて実施する事務（生活保護、賦課徴収事務、年金事務、戸籍・住基台帳事務、選挙事務、広域組合の負担金などの市の裁量が及ばない事務） 負担金のみの事業（イベント等の実行委員会への負担金を除く） 組織や職員を管理するための内部事務管理事務（財務事務、人事管理事務、企画事務、議事務など） 施設の維持管理費のみの事業（光熱水費や法定の保守点検委託料など。施設の修繕料） 施設を維持管理するための運営業務（施設やそれに付随する車両等の運転業務委託、公園などの管理業務、清掃委託） 課内事務を行う上で必要となる事務的経費のみで構成される事業（条例委員の報酬、旅費、需要費、役務費のみで構成） 団体等への負担金及び補助金が予算の大半を占めるもの・・・補助金は、補助金要綱及び補助金等のあり方に関するガイドラインにおいて精査されている。 ハード事業で、中長期の年度計画（事業費含む）を策定し認められた事業 ハード事業1,000万円未満、ソフト事業100万円未満（事業類型1～9以外） ハード事業1,000万円以上、ソフト事業100万円以上（事業類型1～9以外） 	<p>【事業概要シート作成有無】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 100px;"> 新規・拡充・その他の見直し NO YES </div> <p>事業概要シート 【不要】</p> <p>事業概要シート 【必要】</p>	<p>【事務事業評価の視点】</p> <p>妥当性（市の関与）</p> <p>a…市が実施することが妥当である b…見直す余地がある c…市が実施する緊急性が認められない</p> <p>有効性（施策貢献度）</p> <p>a…施策への貢献度が高い b…施策への貢献度が著しく高いとはいえない c…成果の向上が見込まれない</p> <p>効率性（コスト）</p> <p>a…コストを見直す余地がない b…検討する余地がある</p> <p><総合評価></p> <p>A…計画通りに事業を進めることが適当 B…事業の進め方の改善検討 C…事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D…事業の抜本的見直し、休・廃止の検討</p>
---	--	--

NO	事業名	担当課 課長 担当者	事業内容	事業期間		根拠法令 要綱等	事業 類型	妥当性	有効性	効率性	総合評価	事業費は当初・繰越・補正予算の合計額					主な指標	単位	R 3 R 4 R 5				事業の方向性	概要 シート			
				開始	終了							事業費（千円）			人件費（千円）				R 3	R 4	R 5	計画			実績	計画	計画
												R 3 決算	R 4 予算	R 5 見込	R 3 決算	R 4 予算											
1	漁港維持管理事業	農林水産整備課 福田 謙一郎 横山 巧	漁港施設の維持管理（係船等の利用調整・指導、施設の点検等）を指定管理者に委託する。 漁港施設の照明や標識灯等の修繕を行う。	昭和30年度		大村市漁協管理条例	6			a	A	8,634	9,700	10,636	2,191	2,768	係船数	隻	155	147	147	142	現状維持	無			
2	水産多面的機能発揮対策事業	農林水産振興課 山田 充哉 森 啓之	市内の漁協組合員が中心となり、海底耕うんや浮遊堆積物の除去、稚貝等の沈着促進、藻場の保全などの水産多面的機能発揮に関する活動に対し負担金を交付する。 また、ナマコや甲殻類などの種苗放流に対し補助する。	平成25年度		水産多面的機能発揮 対策交付金交付要綱 大村市農林水産振興 事業補助金交付要綱	6			a	A	15,283	8,951	8,946	2,103	2,063	海底耕うん 実施回数	回	44	45	44	44	現状維持	無			
3	東浦地区漁礁・増殖場整備事業	農林水産整備課 福田 謙一郎 坂野 正多	東浦漁港地区における漁場環境の改善を図り、漁獲量の減少に歯止めをかけることを目的として、漁場環境整備を行う。 ・魚礁プロック設置N=60基 ・藻場礁・増殖場A=0.05ha ・投石A=0.25ha	平成27年度 令和3年度		漁村再生交付金事業 実施要綱	9					133,356	-	-	2,484	-	魚類及びナマコ等 の漁獲量	t	4	0.6	-	-	前年終了	無			
4	密漁取締連携推進事業	農林水産振興課 山田 充哉 森 啓之	大村湾内7漁協で構成される大村湾海域漁場監視連絡協議会に対し、密漁防止のための漁場監視活動経費について、大村湾周辺自治体により負担金を交付する。				6			a	A	95	95	95	145	145	密漁確認件数 (大村湾内)	件	0	0	0	0	現状維持	無			
5	水産物供給基盤機能保全事業	農林水産整備課 福田 謙一郎 坂野 正多	漁港施設の長寿命化及び、更新コストを平準化するために、施設の老朽化状況を調べるため機能診断を実施。機能診断結果に基づき、施設を保全するために必要な日常管理や保全・更新工事を盛り込んだ機能保全計画を策定する。併せて、漁港施設の改良工事を含めて、長期的な施設整備計画を策定する。	平成28年度			10	a	a	a	A	0	0	0	0	0	保全計画の策定漁 港数	箇所	2	2	2	2	現状維持	無			
6	漁場環境改善事業	農林水産振興課 山田 充哉 森 啓之	ナマコ漁の弊害となる藻の除去を実施する市内の各漁協に対し補助する。 また、漁港内の操業を終えた漁船の廃船処理を支援し、漁業者の漁場環境の改善につなげる。	平成29年度		大村市農林水産振興 事業補助金交付要綱	6			a	A	170	410	410	301	311	ナマコ漁実動日数 (3漁協平均)	日	47	30	47	47	現状維持	無			
7	新たな漁業者育成事業	農林水産振興課 山田 充哉 森 啓之	新たな漁業就業者を育成していくため、県や漁協等の関係機関で構成する漁業者確保推進協議会を設立する。あわせて、漁業就業者が研修を行う上で必要となる生活費や資材購入費等に対し補助する。 また、担い手体験取組事業等をおとして、漁業就業実践研修の受講につなげ担い手の確保を図る。	平成30年度		ひとが創る持続可能な 漁村推進事業推進 要綱	8	a	a	a	A	220	3,464	879	1,585	1,409	研修受講者数	人	0	0	1	0	現状維持	無			
8	“大村の漁師と水産物” あさいち開催事業	農林水産振興課 山田 充哉 森 啓之	漁業経営基盤の強化を図るため、魚価の向上による漁業所得の向上を図るとともに、市民に対し大村の水産物の魅力を発信する。あわせて、大村市、漁協及び水産加工業者等を構成員とした「あさいち実行委員会」への補助事業として朝市を開催する。	令和2年度 令和5年度		大村市農林水産振興 事業補助金交付要綱 大村地区活の力再生 プラン	8	a	a	a	A	131	360	240	3,324	3,203	朝市開催回数 (年間)	回	10	7	12	12	現状維持	無			

